

1 平成30年度2月補正予算

(1) 函館病院

① 医業収益の増加

- ・ 入院収益増 約4.4億円増 (119億8千万円→124億2千万円)
- ・ 外来収益増 約2.0億円増 (38億6千万円→40億6千万円)

② 上記に対応する材料費の増加

- ・ 材料費増 約2.6億円増 (54億3千万円→56億9千万円)

この結果、差引(①-②) 約3.8億円の収支改善が見込まれる。

- ### ③ 期末・勤勉手当の独自削減の効果額などで、2.2億円収支改善、退職手当の増などで0.4億円の収支悪化が見込まれることから、

合わせて年間で約5.6億円収支が改善される見込みとなっている。

最終的には当初予算で7.3億円と見込んだ赤字が、約1.7億円まで圧縮できる見通しとなっている。

(2) 恵山病院，南茅部病院

年度末において累積資金不足額が生じないように、それぞれ一般会計からの支援を受ける。(恵山0.5億円，南茅部0.8億円)

(3) 事業全体

事業全体の累積資金不足額は33.9億円、

資金不足比率は18.9%と見込まれる。

2 平成31年度当初予算

(1) 函館病院

- ① 平成30年10月以降、月々の収支が給与カットをしなくとも収支均衡が図られる、いわゆる採算ラインに到達しつつあることから、給与カットをせず単年度資金収支の均衡を図ることとし、

目標を、**入院患者数470人/日（退院含む）**（H30.10～12実績467人/日）

薬品診療材料比率32.5%（H30.10～12実績33.4%）

と設定した。そのほか、

- ② ICU病床のフル稼働による収入の確保
③ 外来透析患者数の増 などに取り組む。

(2) 恵山病院、南茅部病院

恵山病院は透析患者数を増やすものの**0.5億円の赤字**、南茅部病院は**1.0億円の赤字**を見込んだ。

(3) 事業全体

病院事業として給与カットしないことを前提に予算を編成し、以上の結果、単年度資金収支（当年度資金不足額）の状況は、

函館病院 プラスマイナス0

恵山病院 0.5億円の赤字

南茅部病院 1.0億円の赤字

合計 1.5億円の赤字

累積資金不足額は35.4億円、

資金不足比率は19.1%と見込まれる。

函館病院

▼30年度2月補正は、入院・外来患者数の増加等により、当初予算に比べ5.6億円改善し、単年度1.7億円の赤字。

▼31年度予算は、給与カットせず単年度資金収支を均衡させるため、目標を入院患者数470人/日、薬品診療材料比率32.5%と設定。
(参考:H30.10~12実績 入院患者数467.1人/日、薬品診療材料比率33.4%)

(単位:千円)

区 分			平成30年度		平成31年度	C-A	C-B
			当初予算 A	2月補正後 B	予算 C		
収	医業収益	入院収益	11,986,680	12,426,644	12,868,749	882,069	442,105
		外来収益	3,864,351	4,068,726	4,031,993	167,642	△36,733
		その他	324,671	324,671	325,689	1,018	1,018
		一般会計繰入金	332,531	336,210	350,880	18,349	14,670
益	医業外収益 (うち一般会計繰入金)		1,855,416 (868,468)	1,848,549 (861,601)	1,699,967 (763,791)	△155,449 (△104,677)	△148,582 (△97,810)
	特別利益 (うち一般会計繰入金)		777,718	777,718	742,720	△34,998	△34,998
	計		19,141,367	19,782,518	20,019,998	878,631	237,480
費	医業費用	給与費	8,843,526	8,403,527	8,915,317	71,791	511,790
		材料費	5,433,704	5,695,749	5,626,843	193,139	△68,906
		経費	2,951,516	2,951,516	3,056,144	104,628	104,628
		減価償却費	661,566	661,566	666,398	4,832	4,832
		その他	79,817	79,817	79,817	0	0
		医業外費用、予備費	606,492	600,636	551,488	△55,004	△49,148
用	特別損失	500	500	500	0	0	
計		18,577,121	18,393,311	18,896,507	319,386	503,196	
収益－費用			564,246	1,389,207	1,123,491	559,245	△265,716
資本的収入 (うち一般会計繰入金)			1,211,982 (1,207,432)	1,211,982 (1,207,432)	1,126,862 (1,123,962)	△85,120 (△83,470)	△85,120 (△83,470)
資本的支出			2,262,877	2,262,877	2,041,378	△221,499	△221,499
当年度資金過不足額			△732,574	△175,799	337	732,911	176,136
累積資金過不足額			△4,051,387	△3,396,247	△3,395,910	655,477	337
資金不足比率(%)			24.5	19.8	19.3	△5.2	△0.5

(参考:税抜き医業収益) (16,492,223) (17,147,256) (17,556,759) (1,064,536) (409,503)
[再掲]一般会計繰入金 2,408,431 2,405,243 2,238,633 △169,798 △166,610

▼入院・外来収益の内訳と材料費比率

区分		H30 2月補正後予算		H31当初予算		差引(H31-H30)	
		平均件数.人数	診療単価	平均件数.人数	診療単価	平均件数.人数	診療単価
入院	一般	1,028.0件/月	1,007,339円	1,030.0件/月	1,041,161円	2.0件/月	33,822円
		456.6人/日	74,564.1円	470人/日	74,810円	13.4人/日	246円
外来	一般	1,150.7人/日	14,477.3円	1,151.0人/日	14,582円	0.3人/日	105円
	精神	16.3人/日	981.0円	16.0人/日	981円	△0.3人/日	0.0円
区分		H30 2月補正後予算		H31当初予算		差引(H31-H30)	
薬品診療材料比率		33.8 %		32.5 %		△ 1.3 %	

恵山病院

▼30年度2月補正は、累積資金過不足額がゼロとなるよう、一般会計からの支援(0.5億円)で調整(実質的な赤字は単年度で0.7億円)。

▼31年度予算は、人工透析機器の増設による患者数の増を見込んだが、単年度0.5億円の赤字。

(単位:千円)

区 分		平成30年度		平成31年度	C-A	C-B
		当初予算 A	2月補正後 B	予算 C		
収	入院収益	304,904	271,769	338,052	33,148	66,283
	外来収益	111,207	103,794	146,405	35,198	42,611
	その他	14,151	14,151	14,562	411	411
	一般会計繰入金	37,991	37,991	37,991	0	0
益	医業外収益 (うち一般会計繰入金)	154,934 (132,355)	206,871 (184,292)	135,037 (120,410)	△19,897 (△11,945)	△71,834 (△63,882)
	特別利益 (うち一般会計繰入金)	1,247	1,247	9,886	8,639 (0)	8,639 (0)
	計	624,434	635,823	681,933	57,499	46,110
費	給与費	412,032	436,478	439,091	27,059	2,613
	材料費	62,088	59,214	76,549	14,461	17,335
	経費	135,502	135,502	144,871	9,369	9,369
	減価償却費	59,440	59,440	33,579	△25,861	△25,861
	その他	2,510	2,510	2,237	△273	△273
	医業外費用、予備費	10,255	10,255	11,424	1,169	1,169
用	特別損失	500	500	500	0	0
	計	682,327	703,899	708,251	25,924	4,352
収益－費用		△57,893	△68,076	△26,318	31,575	41,758
資本的収入 (うち一般会計繰入金)		21,590 (21,590)	21,590 (21,590)	21,848 (21,848)	258 (258)	258 (258)
資本的支出		39,779	39,779	47,569	7,790	7,790
当年度資金過不足額		△41,166	△19,971	△50,736	△9,570	△30,765
累積資金過不足額		△41,166	0	△50,736	△9,570	△50,736
資金不足比率(%)		8.8	0.0	9.4	0.6	9.4
(参考:税抜き医業収益)		(467,389)	(427,092)	(536,156)	(68,767)	(109,064)
[再掲]一般会計繰入金		191,936	243,873	180,249	△11,687	△63,624

▼入院・外来収益の内訳と材料費比率

区分		H30 2月補正後予算		H31当初予算		差引(H31-H30)	
		平均人数	診療単価	平均人数	診療単価	平均人数	診療単価
入院	療養	33.6人/日	22,164.4円	38.0人/日	24,306.3円	4.4人/日	2,141.9円
外来	一般	53.5人/日	7,953.8円	69.8人/日	8,738.0円	16.3人/日	784.2円

区分	H30 2月補正後予算	H31当初予算	差引(H31-H30)
薬品診療材料比率	15.3 %	15.5 %	0.2 %

南茅部病院

▼30年度2月補正は、累積資金過不足額がゼロとなるよう、一般会計からの支援(0.8億円)で調整(実質的な赤字は単年度で1.1億円)。

▼31年度予算は、単年度1億円の赤字。

(単位:千円)

区 分		平成30年度		平成31年度	C-A	C-B
		当初予算 A	2月補正後 B	予算 C		
収 益	入院収益	229,266	225,273	255,975	26,709	30,702
	外来収益	98,955	115,036	112,742	13,787	△2,294
	その他	10,166	10,166	9,605	△561	△561
	一般会計繰入金	37,991	37,991	37,991	0	0
	医業外収益 (うち一般会計繰入金)	121,238 (118,428)	202,224 (199,414)	126,054 (123,592)	4,816 (5,164)	△76,170 (△75,822)
	特別利益 (うち一般会計繰入金)	9,236	9,236	10,105	869 (0)	869 (0)
	計	506,852	599,926	552,472	45,620	△47,454
費 用	給与費	372,604	367,935	392,337	19,733	24,402
	材料費	69,137	84,703	86,345	17,208	1,642
	経費	116,179	116,179	129,072	12,893	12,893
	減価償却費	1,715	1,715	2,440	725	725
	その他	2,360	2,360	2,364	4	4
	医業外費用、予備費	4,372	4,372	4,523	151	151
	特別損失	500	500	500	0	0
	計	566,867	577,764	617,581	50,714	39,817
収益－費用		△60,015	22,162	△65,109	△5,094	△87,271
資本的収入 (うち一般会計繰入金)		9,745 (9,745)	9,745 (9,745)	10,162 (10,162)	417 (417)	417 (417)
資本的支出		19,739	19,739	20,585	846	846
当年度資金過不足額		△95,629	△27,181	△96,565	△936	△69,384
累積資金過不足額		△95,629	0	△96,565	△936	△96,565
資金不足比率(%)		25.4	0.0	23.2	△2.2	23.2
(参考:税抜き医業収益)		(375,763)	(388,027)	(415,825)	(40,062)	(27,798)
[再掲]一般会計繰入金		166,164	247,150	171,745	5,581	△75,405

▼入院・外来収益の内訳と材料費比率

区分		H30 2月補正後予算		H31当初予算		差引(H31-H30)	
		平均人数	診療単価	平均人数	診療単価	平均人数	診療単価
入院	一般	18.3人/日	25,653.9円	22.5人/日	24,546.1円	4.2人/日	-1,107.8円
	療養	18.7人/日	7,875.4円	18.7人/日	7,866.5円	0.0人/日	-8.9円
外来	一般	82.0人/日	5,750.4円	81.0人/日	5,799.5円	△1.0人/日	49.1円

区分	H30 2月補正後予算	H31当初予算	差引(H31-H30)
薬品診療材料比率	20.7 %	19.3 %	△1.4 %

3病院合計

▼30年度2月補正は、恵山・南茅部の資金不足(計1.3億円)について一般会計から支援を受け、3病院合計で単年度2.2億円の赤字(資金不足比率は支援後で18.9%、支援前で19.6%)。

▼31年度予算は、函館病院は収益の増等により収支均衡を図ることとし、また、恵山病院は0.5億円、南茅部病院は1.0億円の赤字を見込み、3病院合計で単年度1.5億円の赤字。

(単位:千円)

区 分			平成30年度		平成31年度	C-A	C-B
			当初予算 A	2月補正後 B	予算 C		
収	医業収益	入院収益	12,520,850	12,923,686	13,462,776	941,926	539,090
		外来収益	4,074,513	4,287,556	4,291,140	216,627	3,584
		その他	348,988	348,988	349,856	868	868
		一般会計繰入金	408,513	412,192	426,862	18,349	14,670
益	医業外収益 (うち一般会計繰入金)		2,131,588 (1,119,251)	2,257,644 (1,245,307)	1,961,058 (1,007,793)	△170,530 (△111,458)	△296,586 (△237,514)
	特別利益 (うち一般会計繰入金)		788,201 (0)	788,201 (0)	762,711 (0)	△25,490 (0)	△25,490 (0)
	計		20,272,653	21,018,267	21,254,403	981,750	236,136
費	医業費用	給与費	9,628,162	9,207,940	9,746,745	118,583	538,805
		材料費	5,564,929	5,839,666	5,789,737	224,808	△49,929
		経費	3,203,197	3,203,197	3,330,087	126,890	126,890
		減価償却費	722,721	722,721	702,417	△20,304	△20,304
		その他	84,687	84,687	84,418	△269	△269
		医業外費用、予備費	621,119	615,263	567,435	△53,684	△47,828
用	特別損失		1,500	1,500	1,500	0	0
	計		19,826,315	19,674,974	20,222,339	396,024	547,365
収益－費用			446,338	1,343,293	1,032,064	585,726	△311,229
資本的収入 (うち一般会計繰入金)			1,243,317 (1,238,767)	1,243,317 (1,238,767)	1,158,872 (1,155,972)	△84,445 (△82,795)	△84,445 (△82,795)
資本的支出			2,322,395	2,322,395	2,109,532	△212,863	△212,863
当年度資金過不足額			△869,369	△222,951	△146,964	722,405	75,987
累積資金過不足額			△4,188,182	△3,396,247	△3,543,211	644,971	△146,964
資金不足比率(%)			24.1	18.9	19.1	△5.0	0.2
(参考:税抜き医業収益)			(17,335,375)	(17,962,375)	(18,508,740)	(1,173,365)	(546,365)
[再掲]一般会計繰入金			2,766,531	2,896,266	2,590,627	△175,904	△305,639

単年度資金過不足額の推移

	H26	H27	H28※	H29※	H30見込※	H31予算
函館病院	△ 832,589	△ 902,526	△ 998,890	△ 988,156	△ 175,799	337
恵山病院	△ 13,357	△ 72,874	△ 13,598	△ 94,902	△ 72,108	△ 50,736
南茅部病院	△ 105,740	△ 113,006	△ 56,636	△ 91,408	△ 108,217	△ 96,565
3病院合計	△ 951,686	△ 1,088,406	△ 1,069,124	△ 1,174,466	△ 356,124	△ 146,964

※会計基準改定の影響や恵山南茅部の赤字補てんに係る一般会計からの支援を除く